

平成29年度第2回さぬき市図書館協議会 会議要旨

- 1 日 時 平成30年2月5日（月） 13：30～15：30
- 2 場 所 さぬき市教育委員会2階第5・6会議室
- 3 出席者 【委員】木村 彰伸 合田 誠 井上 綾子
有岡 融代 石川 智治 池田 洋子
長尾 隆志 木村 利夫 森 幹男
山根 正孝
【事務局】安藤教育長 間嶋生涯学習課長
中村館長（志度） 射場館長（寒川）
堀口副主幹 伊関係長 大山主査
- 欠席者 無し
傍聴者 無し
- 4 議 題 (1) 平成29年度さぬき市図書館事業中間報告について
(2) 平成30年度さぬき市図書館事業計画（案）について
(3) その他

5 会議の内容

発言者	意見概要
(事務局)	(会議の公開等の取扱いについて説明した。)
(委員)	(公開することです承された。)
(事務局)	本日の傍聴は、ありません。では、平成29年度第2回さぬき市図書館協議会を開会します。
(委員長)	(委員長挨拶)
(教育長)	(教育長挨拶)
(事務局)	(資料の確認をした。)
	議事に移ります。さぬき市図書館規則第2条第2項により、進行は委員長にお願いします。
(委員長)	平成29年度さぬき市図書館事業中間報告について、事務局は説明してください。
(事務局)	(議題(1)のさぬき市図書館事業報告説明)
(委員)	私の希望ですが、利用状況で昨年との増減を表していますが、この10年間のトレンドが分かるように参考につけてはどうかと思います。過去の資料を持っているのですが、2年前から昨年度にかけては利用者数がすごく落ち込み、昨年度から今年度は落ち込んではいるが減少幅は少なくなっている。貸出冊数も同様に毎年1000冊くらい減っている。前年度比較だけでなく、この10年間の大きな流れが分かるようにできれば、それによって対策、問題提起ができるのではないかと思います。
(委員長)	前年度だけ比べてでは委員さん方も前のことが分からないので、対策しにくいかもしれませんね。
(委員)	その時その時の対策はできると思うのですが、長いスパンの流れをつかんで対策を

	行わなければならない時期が来ていると思います。
(事務局)	データはありますので、今までのものを出してみ、協議会で資料として出せるよう検討させていただきます。
(委員)	直近3年間のデータは持っているのですが。
(事務局)	資料の足しになると思います、過去5年間のデータを手持ちで持っているのですが、平成24年度から28年度ですが、人口でいうと2419人5年間で減少しています。志度図書館側と寒川図書館側とを比べますと、志度側は約1,000人減っており、寒川側は約1,500人減っています。子どもの数で見ますと、資料データでも「子どもの登録は寒川側が多い」ということでしたが、志度側は253人減り、寒川側は56人減っています。人口は、寒川側のほうが志度側の1.5倍くらい減少していますが、子どもの減少は、志度側のほうが寒川側の5倍くらい減少しています。
(委員長)	子どもの数の減少もあります、事業報告説明でもあったように、学校図書館の充実もあると思いますね。学校の先生から見てもどうでしょうか。
(副委員長)	毎年度学校図書館の予算が付きますので、それにより充実していると理解しています。
(委員長)	やはり、学校図書館が充実したということも、図書館の利用者数の大きな要因だと思いますね。
(事務局)	平成28年度から、全ての学校の図書室に支援員が配置されるようになりましたので、今年度で2年目になります。28年度から予算も増え、買う本も増えたということです。28年度で利用者がぐっと減ったのは、学校図書館のほうに行っただけかなと思われそうです。2年目になって減少の幅が抑えられたのは、学校図書館を利用していた子が少しではあるが戻ってきたのかなあとと思います。
(委員長)	先程委員さんがおっしゃるように、前年度だけではなくて、もっと前のデータを出してもらって比較するというのを検討していただけたらと思います。
(委員)	さぬき市図書館は数値的にこういうトレンドになっていますよ、というのを示していただければと思います。
(事務局)	あと、志度図書館より寒川図書館の減り幅が少ないというのも、最近合併して「さぬき市」になったという意思の表れかと感じました。なぜなら、寒川図書館を通して取り寄せて志度図書館の本を借りる人が増え、過去の5年間を見るとその冊数が倍になっております。志度図書館に来られる方は減っていますが、志度図書館の本を利用いただいている点では、そこまで減ってはないと思います。志度・寒川というのではなく、市全体で考えていかなければならない時期になっているのではないかと思います。
(委員)	全国図書館友の会に入っているのですが、人口的減少とかの要因で全国的に図書館の利用者数は減っているそうです。その中で寒川図書館の利用者数が減っていないのは、先ほど事務局からおっしゃったもののほかに何か努力されたものがあるのでしょうか。
(事務局)	おはなし会やイベント開催数、職員数、蔵書数等志度図書館の方が多いいにもかかわらず、志度図書館の利用者は減り、寒川図書館の利用者は増加しているので、過去5年間のデータを調べましたところ、子どもの数の減少が志度側の方が圧倒的に大きいことがわかりました。また、子どもだけでなく連れてきている大人の数もカウントさ

<p>(委 員)</p>	<p>れるので、そういうことも大きい理由ではないかと推測します。</p> <p>学校図書館支援員の会に出させていただいたのですが、学校図書館は現在11か所あり、支援員のみなさん熱心になさっているのが分かりました。だから、学校図書館が充実していると感じました。</p>
<p>(教育長)</p>	<p>支援員さんが充実しているのも分かりますが、今から10年前は学校が十何箇所ありました。それが8校になっています。学校図書館の予算立ても、割り当てが1校あたり増えてきたわけです。それにより図書購入の増加による充実もあるかなと思います。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>幼稚園でもそうなっていると思います。志度図書館で0歳から6歳の利用者の数が減っているのは、幼稚園が統合して、その幼稚園の図書の数も一つに集中して多くなっているからだと思います。幼稚園図書の充実とそこでの読み聞かせの充実があるからかなと思いました。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>逆に言うと、図書館の存在意義を問われるのではないのでしょうか。市営の図書館の存在を示すためにはどうすればよいかを考えなければ進歩がないと思います。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>社会教育法の中に図書館設置のことがありまして、社会教育法は一般市民を対象にした法律で、公立図書館は社会人を対象にした本で、子どもたちを対象にしたものは学校図書館がメインであるということです。小学校は小学校の、中学校は中学校の図書館の充実を図り、公立図書館は一般市民の図書の向上を図るというふうになるのではないかと考えております。ですので、子どもの数や学校図書の充実云々ではなく、一般の人が利用することで存在意義が問われるのではと考えております。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>さぬき市が行っているブックスタート事業の中に、赤ちゃんを連れた親御さんに本はどうして必要なかをボランティアの方が説明をするというのがありますが、そこに図書館の方にも来てもらっていますが、そこで図書館カードは作れるようになっていますか。申込みだけですか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>申込みだけです。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>それを利用してカードを作ってください親御さんもいらっしゃっています。小さい年齢の時から本に触れられている子は本が好きで、中学生から急に本が好きになるというのはほぼありません。本を読むことの積み重ねで好きになっているようです。ですので、ブックスタートのように、小さいころから本を馴染ませることで、小中学生につながっていき、学校図書館だけでなく公立図書館の利用につながるのではないかと思います。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>他に意見がないようなので、平成29年度さぬき市図書館事業計画について、説明してください。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>(議題(2)平成29年度さぬき市図書館事業計画について説明した。)</p>
<p>(委 員)</p>	<p>事業計画(案)は昨年度とほぼ変わりはないのですが、気になったのは13ページの広報関係のところ、昨年度にはあった「こんな本はあったよ」「図書館に行こう!新刊はこんな本」の発行が無くなっているのですが、これは、やってみて費用対効果で今一つだったという検証結果に基づいてのことでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>A3のカラーで、図書館おすすめの本を表紙と解説を載せてブックリストのようなものにしたものの小学生用が「こんな本はあったよ」で、中学生用が「図書館に行こう!新刊はこんな本」です。年に一回図書館司書が行う研修に学校図書館支援員さん</p>

	<p>が集まった時にこのブックリストについてどう活用していただいているか聞いたところ、掲示板に掲載するものの、支援員さんも掲示物を多数作成するのでその中に埋もれてしまい、児童・生徒があまり見ていないという意見をいただきました。それで見直しの為一度止めようということになりました。</p>
(委員)	<p>支援員さんが作成している掲示物は、学校にある新刊図書について掲載しているのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>図書館司書が研修等で指導した結果、こちらが作成していたものと同じようなものを指導員さんが作っていくわけです。それを多く作成するので、こちらのリストが埋もれた形になりました。なので、新たなものを考える必要があるのではないかとということになり、一度止めることにしました。</p>
(事務局)	<p>志度図書館に、学校現場で学校図書館に携わった人が司書におります。図書館のミーティングを行った時にその司書が意見として、学校にも配布物がいっぱいあるから、こちらからのものは埋もれてしまって読まれていない状態であるということでした。それも踏まえて一度止めてみようということです。</p>
(委員)	<p>逆に言えば、学校に図書館の本の情報は必要ないということになるのでしょうか。</p>
(委員長)	<p>学校図書館は、公立図書館とは違うので、いくら充実しているとはいえ、図書館からは発信はしていかないといけないと感じます。何か新たなものを考えていかなければならないのではないのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>昨年までとはやり方を変えてみまして、先ほど事務局の説明の中にもありましたように、長期休業日に合わせたブックリストの発行を行っているのですが、この中に図書館に誘うようなものを足してみました。例えば、「夏休みの自由研究に困ってない？困ったら図書館においで！」という風に、自由研究相談会の周知を兼ねて図書館来館誘致を行い、単なるブックリストではないものにしてみました。中学生用のものにも、「本を借りたら先着順でプレゼントをあげます」というように、一度図書館に足を運んでもらうように仕向けたブックリストを作成しました。ただ、毎月行っていたものを一度止めて、やり方を変えてみようということでした。来年度は今年度の手ごたえを見て方向を探り検討したいと思います。</p>
(委員)	<p>先程のものは事業計画に入っていますか。</p>
(事務局)	<p>13ページの広報関係に入れています。</p>
(委員)	<p>これも例年やっているけれども、それをさらに充実させているということですね。</p>
(委員)	<p>予算(案)と事業計画(案)についてですが、予算(案)については低予算の中苦労しながら行われているとこの資料で感じます。事業計画(案)については予算と一体化した計画というのではなくて、切り離してボランティア的なものもしくは図書館の行事的なものをやりますという意味で網羅されているということでしょうか。</p>
(事務局)	<p>はい。</p>
(委員)	<p>例年このような形でおこなわれているのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>そうです。</p>
(委員)	<p>初歩的なことをお聞きするのですが、協議会においては、予算とか事業計画については、承認とかが必要なのでしょうか。それと、後で出てくるのですが、その他の報告事項というのも何に対しての報告事項なのかわかりにくいんですよ。ここではどういうスタンスで議論をするのか、計画(案)であれば協議会の承認がでてくるんですし</p>

	<p>ようけど、教育委員会に「OKです」と出せばいいのでしょうか。</p>
(委員長)	<p>もう予算はついていきますから、承認というのはしなくていいと思いますけど。</p>
(委員)	<p>私が認識しているのは、こういう事業計画について出されているので、協議会の場で委員が見て、「こういうことを付け加えればいい」とか精査して、教育委員会に提案するものと思っております。</p>
(委員長)	<p>こういうような形で事業をさせてもらうということを出しているのですね。</p>
(事務局)	<p>そうです。予算については、この場で承認をもらうようにはなっておりません。(案)とついているのはまだ議会の承認を得ていないので、これが決定事項ではないので、つけさせてもらっています。事業(案)というのも、いろんな意見をいただきながら30年度事業について今後精査させてもらうということからです。例えば志度図書館は創立15周年記念事業を考えていますが、それについても詳細なものが決められておりません。ここに挙げている定期的に行う事業のプラス何かを考えていこうと思っております。その参考になるものを、委員さんにお伺いしようということです。</p>
(委員)	<p>イメージ的にはそう思っているのですが、ただ、例えばの話ですが、事業計画で新たにこういうようなものをやりましようとなったときに、それが1,000万要りますとなったときに、予算に食い込んでくる話になると思うんです。しかし、予算の枠内で行わなければならない。事業内容を見てみるとボランティア的なものが多いので、予算には食い込まないものと思うのですが。抽象的ですが、事業計画のところをこれからしっかりいろいろなものを踏み込んでいって教育長がおっしゃっていた公立図書館というイメージに近づけていかないといけないと思います。さぬき市は人口の割にはいい図書館だと感じています。ボランティアに支えられ、おはなし会も見させていただきましたが、こういう事業は続けていって欲しい。しかし、ある程度の事業予算はボランティアに頼るだけでなく、付け込んでいかなければと。事業計画(案)をしっかりしたものにして、予算(案)に連動させて、これでは駄目だということになれば教育委員会に物申せるような、ややこしくなるかもしれませんが、大きなことをするには必要だと思います。</p>
(委員長)	<p>確かに何年かはこういった事業が続いています。これ以上のことをすると、予算が無いのでできないということになるのでしょうか。例えばビブリオバトルとか行うにも予算が無いので難しいでしょうか。</p>
(事務局)	<p>それ用にビブリオバトルなりブックハンティングなり予算を取る必要があるのと、児童生徒にお願いするにあたり、学校の先生方に負担をお願いしなければならないので、この1年でできるかと言われるとなかなか難しいことだと思います。図書館司書のYA担当も、自ら研修に行ってくれたりしているのですが、学校との打ち合わせの関係もあり、進んでいきません。</p>
(委員長)	<p>小さなお子さんに対しての事業はありますが、中高生に対してのイベントってありませんよね。</p>
(事務局)	<p>小学校低学年までのおはなし会なので、そこで途切れてしまうと感じています。できれば、中・高学年、そして中学校に入ってまでを対象とした事業ができればいいなと思っております。</p>
(委員長)	<p>それでしたら、ビブリオとかブックハンティングとか、若い子が興味を持つような事業をこの中に入れてやってみるのもひとつの案だと思います。変化を付けてみるの</p>

	もいいのかもかもしれません。
(事務局)	中高生の来館は、テスト勉強の時に自習室としての利用はかなり多いのですが、本を借りて読むというのはあまりありません。ですので、中高生に声を掛けて図書館独自でその事業を行うのであれば取り掛かりやすいのですが、学校の先生にお願いするのであれば、司書が学校に出向いて説明しなければなりませんので。
(委員長)	学校に関係なく図書館独自で行うとしたらどうでしょうか。
(事務局)	予算があれば可能です。割と早くできるのではと思います。
(委員長)	中高生に本を選んでもらって、そのコーナーを作っている図書館もあるようです。こういうのは、お金を掛けなくてもできるような気がします。
(委員)	よその図書館を見ていたら、さぬき市は少ない予算で見ていて痛々しいくらいやっている。図書館がいかに良くなるかというのは、館長・職員の資質と、資料の豊かさということらしいです。低予算でやっていくには職員の対応が重要であると感じております。図書館友の会で挙がった意見ですが、図書館15周年イベントを図書館主体で行ってもらい、友の会はそのお手伝いと考えているのですが、聞いたところ15周年に関する予算はついていないようなので、どうなっているのかお聞きしたいのですが。
(委員長)	予算が無い中で、こういった事業は予算を取って行かなければならないですね。
(委員)	そういうのを提案してもいいんですか。こういった事業というのは、必ず予算が伴ってくるので。大きい金額がかかる事業の話は、ここで提案しても意味がないと思っていますので。
(教育長)	意味がない、ということはないんですが、できるかできないかという点になると難しい。
(委員)	難しいですよ。
(教育長)	こんなことを言うと、昔のことだと言われるかもしれませんが、かつて図書館長は生涯学習課長が兼務をしてました。私が教育長になったばかりの時は、図書館には司書の職員しかなくて、何かあった時は館長兼務である課長が教育委員会からそこへ向かうようになっていました。これでは良くないという意見が出まして、やっと両図書館に館長ができました。時間がかかりましたが、こういうことも言わなければできない。ですので、いい案があればおっしゃっていただきたい。
(委員)	お子さんや学校図書館の話が出ていますが、公立図書館に来ていただくために、飲み物のサービスを考えたりとか。志度図書館はロビーが広く、職員さんの対応もいいので、過ごしやすくて感じております。しかし、低予算で、その枠で事業を行わなければならない。そうすると、事務局でこの先10年どういうふうにしていきたいのか、長期的な計画を持っておくべきだと思います。それをもって教育委員会なり議会なりに挙げていく。そうしないとジリ貧な状態が続く気がします。
(委員)	その際のアイデア、参考になるのは図書館利用者の意見だと思います。意見とか、満足度というのか、そういう貴重な意見を積み重ねていけばと思います。
(委員)	それは何年前かにアンケートを取りませんでしたか。何年前の協議会資料でもあったような気がします。
(事務局)	図書館に意見箱を設置していますが、それでいただいたものをこの協議会で出したことがあります。それと、一番大事なのは、日々カウンターに座って図書館利用者の

	<p>顔を見ることだと思っています。利用者への対応をすることにより、色々図書館に対する意見が出てくる。それを口頭やリクエスト、意見書等色々ありますがそれを吸い上げていく。そういうようなことを日々行っています。</p>
(委員)	<p>企業であれば売上げの7割は既存の商品、3割は新規の商品というふうになっています。図書館の事業計画を見てみたら全てが継続事業なので、何か1・2つ新規の事業が欲しいかなとは思っています。</p>
(委員長)	<p>意見箱は両館にあるのですか。</p>
(事務局)	<p>あります。</p>
(委員長)	<p>意見箱にあったことは、それに対する回答はあるのですか。</p>
(事務局)	<p>意見箱にあったものは回答させてもらっています。中には「駐車場を増やしてほしい」など、現状ではできないものもありますが、今後の検討材料になる貴重な意見だと思っています。</p>
(事務局)	<p>施設面における改善要望はなかなか応えようがありませんが、できる範囲のことは回答しています。</p>
(委員長)	<p>他に意見がないようなので、その他について、説明してください。</p>
(事務局)	<p>(議題(3)その他について説明した。)</p>
(委員長)	<p>他になければ以上で終わります。事務局に進行を返します。</p>
(事務局)	<p>事務局からはお礼とお願いを申し上げます。協議会の委員さんの任期が、今年の5月31日までとなっています。通常ですと、5月までにこの会議の開催の予定はありません。もしかしたら本日の会議が最終となる可能性もあります。ここで改めてお礼を申し上げます。全委員さんへのお知らせになりますが、各組織の代表として就任されている方で、年度が変わることによりまして本協議会の委員さんに変更が生じる場合、決定後速やかに事務局までご一報ください。また、事務局からもそういった問い合わせを4月に入ってから連絡しようと考えています。次に、公募による委員さんにも、組織代表委員さんと同様に、まことにありがとうございました。本年4月に入りましたら、改めてこのさぬき市図書館協議会の公募による委員さんを募集しますので、差支えがなければ是非再度応募の方向でご検討くださいますようお願い申し上げます。以上です。長時間のご審議ありがとうございました。</p>
(委員長)	<p>(委員長挨拶)</p>
(事務局)	<p>以上で、平成29年度第2回図書館協議会を終了します。</p>

